

SAEKI

第51号

令和7年(2025年)

3月発行

佐伯区スポーツ推進委員協議会

会長 埴田 栄樹

五日市中央

五日市

五日市東

五日市南

楽々園

藤の木

彩が丘

湯来

五日市学区市民運動会

令和6年10月20日(日)

五日市小学校グラウンド

五日市学区 藤井 久美



どのタイミングで国旗を上げるのか放送係の私はどうしたらよいかわからなくなりました。

国旗掲揚時に君が代が流れない！

開会式を始めると、また問題が発生。

することができました。

さあ 開会式を始めようと、マイクのスイッチを入れるも使えないことがわかり、音響の方や関係者はドタバタと走りまわって、携帯マイクを二つ小学校から借りることができました。

第39回五日市学区市民運動会が、連合町内会と学区体協の主催で開催されました。コロナの間は中止されていましたが、昨年より再開した市民運動会で、町内を赤組白組の二つに分けて競技を行いました。前日は夕方まで雷と雨。最悪の天候でできるかどうかを心配していましたが、当日は晴れて絶好の運動会日和となりました。早々に大会関係者でテントを張り用具などを運び、大急ぎで準備をしました。

そこへ、スポーツ推進委員の川崎さんがさつと現れて、アカペラで君が代斉唱、それがすごく上手なんです。無事に国旗掲揚が終わり、川崎さんの号令に合わせて参加者全員でラジオ体操を行い、身体の準備が整いました。

その後音響も回復し、運動会ソングが流れ始めると気分も盛り上がります。関係者は競技開始準備へテキパキとそれぞれの係に分かれていきました。

プログラムは、玉入れ、徒競走、障害物競走、グラウンドゴルフを用いたホールインワンや子ども・大人女子・大人男子それぞれで対決する



綱引きなど未就学児から高齢者まで参加できる内容となつていきます。

スポーツ推進委員の西川さんは、進行に合わせて競技

出場者を集合させ、準備OKのサインが出たら私がプログラムのアナウンスを行い、競技説明をスポーツ推進委員の川島さんが行います。日頃のチームワークの良さの賜物で、競技は順調に進んでいきました。



プログラム最後は採点に関係なく、老若男女が5分間グラウンドをそれぞれのペースで走ります。ペビーカーに乳児を乗せて走る家族、よちよち歩く子どもと手を繋いで笑顔で歩く親子、全力で走る子どもや大人たち、そして高齢の方々も笑顔で参加していました。運動会を放送席で見ている、みんなが笑顔で参加できる地域のイベントは今後も必要だと感じました。

色々とハプニングもあり、バタバタの運動会でしたが、和気あいあいの楽しい時間を過ごすことができました。

最後に企画、準備と労力は必要ですが、スポーツ推進委員が地域活動に少しでもお役にたてて良かったです。

新任推進委員の方中心に
感想を聞いてみました

佐伯区スポーツ推進委員1日研修会in 湯来!!

令和6年9月22日(日) 湯来交流体験センター

八幡東学区 浪速 実

佐伯区スポーツ推進委員1日研修会が「湯来交流体験センター」芝生広場で開催されました。季節がら、週末には毎週台風が接近するシーズンで週間天気予報にとらめっこする日々でした。しかし、前夜からの雨も上がり山々の木々の葉も少し彩り始め、マイナスイオンを全身で感じられる気持ちの良い朝が出迎えてくれました。

研修内容は、参加者を3グループに分け、①『ターゲット・バードゴルフ』②『ペタンク』③『モルック』の3種類のニュースポーツを約30分間で巡りました。



ターゲット・バードゴルフとは日本人が編み出した日本発祥(埼玉県)のニュースポーツ。ゴルフボールにバドミントンの羽を付けた専用ボールをゴルフクラブの(ウェッジ)で直径110cmの傘を逆さまにした様な網かごへ入れるスポーツです。芝生の保護のためにもショットごとにマットを移動し行わなければいけないのでダフることはありませんね(笑)。正式にはゴルフと同じ18ホール(パー72)で競いますが今回は体験ですので芝生内でパー3の特設コースを3コース程で実施しました。

やはりゴルフ経験者が腕の見せ所! 華麗なショットで寄せを披露し見事ホールインワンを叩き出した方もいたのでは…(謎)

ゴルフ未経験者はスイングの仕方のアドバイスをもらいながら何度も試打し、打球感を体感し、フワッと浮いたボールが初めてショットできると「わーっ!!」と歓喜し、この瞬間の喜びと何かをつかんだ感覚が、新しいスポーツへのめり込む要因のひとつなのだろうと感じました。

ペタンクは世間でも知れ渡っている馴染みのある競技ですが、私にとってはお初でした。ペタンクとはフランス発祥の木製の目標球(ビュット)に金属製のボール(プール)を投げ、相手より近づけ最終的に得点を競うニュースポーツ。今回はゴム製のプールを使用したので、質感や転がりぐあいで狙いを定めるのに悪戦苦闘し、終盤ともなればプールの配置により頭脳戦の攻防。結局、つかみきれないままでした(泣)。また機会があればじっくりとプレーしたいと思いました。

(余談ですが本記事では競技名をペタンクと称しておりますが正式競技名は「ニチレクボール」です)

モルックはにわかに浸透しつつあるフィンランド発祥の木製の棒(モルック)で、12本の木製のピン(スキttl)を互いに倒し

合い、先に50点ピッタリであがれば勝ちとなるニュースポーツ。この競技はスポーツ推進委員内では十八番の競技。序盤から終盤まで1投が白黒明暗を分けるハイレベルな戦いでした。

午後からはそんな午前の話に花が咲いたBBQで、楽しい時間を過ごしました。



八幡学区 桑田 照也

スポーツ推進委員の1日研修がありました、私はスポーツ推進委員が何をやるのかも良く分からないまま引き受け、言われるままに色々な会議や研修に参加し、忙しい日々が過ぎて約半年が経ちました。

今回の研修も雨の場合は館内でやるので室内シューズを持参と聞き、それは用意して行きましたが着いて早々、さまざまな実技研修が控えているのにもかかわらず私一人だけクロックス姿で恥ずかしい思いをしました。(汗)



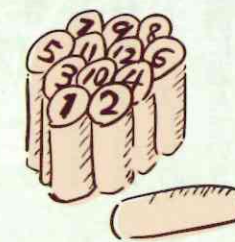
ト・バードゴルフ。私は1日で大好きになりました。

研修では推進委員メンバーを3つのチームに分けローテーションで行いましたがそれぞれ競技に特徴があり、珍プレー・好プレーの連続で上手いけば「ハイタッチ」、上手いかなかったら「どんまい」とみんな笑顔で楽しめ、スポーツ推進委員間の交流も深めることができました。

この研修で得たレクリエーションスポーツの素晴らしさを学区に持ち帰り、広く普及させていきたいと思っています。

最高でした!!

この半年間で、いろんなスポーツの研修をさせていただきましたが、今回はターゲット・バードゴルフとペタンクとモルックでどれも老若男女みんなが楽しめるレクリエーションスポーツです。以前パラスポーツ研修の講義で、パラスポーツの発祥は戦場で負傷した兵士の心と身体のリハビリのために考案されたスポーツだと聴きました。今回はレクリエーションスポーツということで、パーベキューを楽しみながらでもできるモルックや、日本で考案され安全かつ気軽にできるターゲット



河内学区 青田 繁幸

この1日研修会は主にマイナーなニュースポーツなどを中心に推進委員自らが体験し、各学区での実技の指導や企画・運営などを行う際に役立ててもらうために研修部が中心となって毎年企画している事業です。

今回の研修会も佐伯区スポーツセンターのコーディネーターの方々に用具の提供も含め協力していただき、充実した研修会を受講することができました。この貴重な経験を今後の活動に生かしていきたいと思っています。

また開催場所である『湯来交流体験センター』は自然に囲まれ恵まれた環境の中にあり一年を通して楽しく研修やレジャーを楽しむことができます。ぜひホームページなどにアクセスし、利用していただければと思います。

アドレス: <https://yuki-kouryu.jp/>



運転免許センターでグラウンドゴルフ!!

令和6年10月12日(土)

広島県運転免許センター

五日市中央学区 兼光 宏和

佐伯区役所地域起こし推進課の主催で、交通安全グラウンドゴルフ大会が開催されました。

今までの交通安全グラウンドゴルフ大会は、カラーコーンやバリエードなどを置いたり、ラインを引いて一旦停止が必要だったり、普通のグラウンドゴルフとは全く違う競技として行われて来ました。

今回はそういった障害物競走のような形式ではなく、本来のグラウンドゴルフに近い形で行われました。



しかし競技のルールが一般的なものである代わりに、コースそのものが特別なものとなっており、区役所

によると、技能試験コースの芝生部分を使ってグラウンドゴルフ大会を開いたのは全国でも初めての試みだろうとのことでした。

当日は朝10時30分に集合し、コース作りをしました。これまでの大会と違い、ライン引き

やビニールひもを使った大掛かりな作業も必要とせず、バリエードやタイヤなどの障害物を運ぶこともありません。スタート地点とゴールを設置するだけであったという間に準備が終わりました。

私は実行委員として下見の段階から関わって参りましたが、区役所の方たちがチャレンジ精神旺盛で、これまでの形にとらわれず色々なアイデアを出されるので、できるだけ実現できる方向で協力させていただきました。なかでもグラウンドゴルフでドラコンをやろうというアイデアも面白く、かつ交通安全らしさを出すためにタイトルを『優良ドライバーコンテスト』とするあたりもこれまでとは一味違うなと感じました。



ドラコンは試験場の長いアスファルトの直線コースを使ってどこまで遠くに飛ばせるかを競います。通常のボールを使うと転がりすぎるうえにボールが傷だらけになってしまいうので代わりにテニスボールを使って行いました。ペテランの方でも思いつきりボールを打つことは滅多にできないと思うので一味違った経験になったのではないかと思います。

また競技中前半と後半の間で行われる交通安全クイズはこれまでの大会ではクイズの成績と競技の成績とは別物でしたが、今回はスコアにも反映しました、これも新しく取り入れたアイデアの一つです。

コース設定後、役員何人かで実際にコースを回って見たところ、スプリングカラーがところどころに飛び出していたり、夜間照明のライトが下ろされて危険な箇所もいくつか見受けられました。次回からはもう少し

安全に配慮して、コース作りをしようと思います。

初めてづくしの大会でしたが参加者の方々も戸惑いながらも楽しんでいただけたのではないかと思います。

この免許センターでの交通安全グラウンドゴルフ大会が佐伯区の新たな行事になるよう、これからも区役所とともにブラッシュアップしていきたいと思っています。

関係者の皆さま、行き届かない実行委員にご協力いただき本当にありがとうございました。



編集後記

フィンランドは日本から一番近いヨーロッパの国と言われています(ロシア除く)。私たち佐伯区スポーツ推進委員一押しのインドアモルックの原型は同国の発祥。

パリ五輪ではブレイキンなど新スポーツでの日本人選手の活躍に心が躍らされました。彼の地で2回目の五輪開催となればきっとモルックも競技種目に。

サントさんやムーミンとの対戦を夢見て腕を磨いておきましょう。